

「探鳥会スタッフ通信」は、探鳥会の考え方や様々な運営手法について、全国の連携団体の探鳥会リーダーの皆様と情報交換を行うための通信です。

目次

- ◆私たちの探鳥会自慢
「初の女子会バードウォッチング開催」・1
- ◆トコロジストになろう
「私のトコロジスト事始め」・・・3
- ◆2013年度「協働探鳥会」取り組み報告・5
- ◆栃木からの情報
「簡単なホームページ作成サービス『Jimdo』のすすめ」・・・6
- ◆探鳥会保険集計結果
(2014年5月分)・・・8
- ◆普及室からのお知らせ
・「探鳥会リーダーズフォーラム」を開催します・・・10
・「探鳥会リーダーズフォーラム」の分科会を担当してみませんか?・・・10
・新たな『フィールドガイド日本の野鳥』に向けて補改訂新版の取り組み・・・10
- ◆今月の購読者数・・・12
- ◆探鳥会スタッフ通信の購読について・・・13
- ◆編集後記・・・13

◆私たちの探鳥会自慢

宮崎県支部から、県支部初の「女子会バードウォッチング」の報告をいただきました。探鳥会スタッフ通信3月号で、オホーツク支部に「女子探鳥会」を紹介いただきましたが、宮崎県支部ではその記事を読んで、開催を思い立ったそうです。

「初の女子会バードウォッチング開催」(宮崎県支部)

■企画の経緯

今年の5月11日(日)、愛鳥週間の行事である全国一斉探鳥会として、宮崎市の加江田溪谷で探鳥会を行いました。猪崎悦子副支部長が知り合いの女性達を誘った時「その日は参加できない、何とか別の日にできないの」という要望を受けました。丁度その頃、探鳥会スタッフ通信で、女性だけのバードウォッチングの事例が紹介され、猪崎副支部長から「宮崎でもやってみよう」という提案があり、実施することになりました。とにかく会員を増やすきっかけにしたいというのが狙いでした。

■当日の様子

6月8日(日)、県支部初の女子会バードウォッチングを宮崎市の加江田溪谷で開催しました。マスコミ向けのチラシを作り、新聞数社

に広報をお願いしたこともあり、参加者は女性27人中、会員が4人、会員外23人。女性のガイドが足りないので、私(前田)を含む男性2人も参加しました。



▲野鳥観察をにぎやかに楽しむ参加者

私から「今日は五感を発揮しているんな自然の音をみんなで楽しみましょう」とあいさつ。猪崎副支部長らが探鳥会についてのマナーなどを説明。目を閉じて音を数え感覚を研ぎ澄まし、2班に分かれて上流の多目的広場に向かいました。

駐車場周辺でもホトトギスやアカショウビンなどがさえずっており、「初めて聞いた」「いろんな鳴き声があるのですね」などの声。大きな木にとまっている鳥を望遠鏡で観察しました。「きれいな鳥ですね」「羽にある黄色がとても素敵」などの声があがっていました。

大雨の後とあって水量も多く、岩にはじける音が溪谷に響いていました。溪谷一番の歌い手・ミソサザイも、水音に負けないくらい大きな声で囀っていました。また、夏鳥のオオルリが高い木の枝先で鳴いているのを散策路から望遠鏡で観察。「初めてオオルリを見ました。うれしい」「すごくきれい」「鳴き声ばかりでなく、姿も素敵なのですね」などと感激していました。

多目的広場で昼食。雨が少し強くなった中での食事となり、持ってきた傘やビニールをかぶって箸を進めていました。食事を終えたところで雨もやみ、散策路で4班に分かれて「フォールドポエム」というネイチャーゲームを行いました。今日体験した中で印象に残ったことを書いてもらい、次の人がこれに続いて書き込むと一編のグループ詩ができるというもので、それぞれ素晴らしい出来栄でした。

■参加者の声

最後に参加者に女子会バードウォッチングに参加しての感想を話してもらいました。

「今日は植物や野鳥も見られてとても楽しかった」「きれいな野鳥に感激しました」「すごく気持ちよかった」「自然にたっぷり触れ合えてよかった」「自然の音を楽しむことができました」などと顔を紅潮させていました。

フォールドポエム作品

- Aさん 風も緑もさわやか
Bさん 水音のちょっと静かに鳥の声を聴く
Bさん サツマルリミの花を見る
Cさん 自然にひっそりと咲いている花に心身共にいやされる
Cさん 山の中で聞こえる鳥の声
Dさん 優しい響きで心なごむ
Dさん 直立不動の杉の木の隙間を縫うように響き渡る鳥の声
Eさん そして川のせせらぎ
Eさん 雨の加江田もいいですね
Fさん 小雨に濡れて鳥の声聞く
Fさん 雨をうけ木々も緑も生き生きと
Aさん 輝いている加江田溪谷

■開催を終えて

一時雨に見舞われるなど大変でしたが、参加者は野鳥や野草などをたっぷりみられて楽しかったと喜んでいました。参加者からは、「気兼ねなく楽しめた」「野鳥も植物も見られてよかった。雰囲気良かった」などの声があがり、また「女性が気軽に参加できる探鳥会を行ってほしい」という要望も出されました。県支部では、今後も女子会バードウォッチングを計画したいと思っています。いまのところ参加した1人が会員になってくださいました。これからです！

(宮崎県支部支部長／前田幹雄)

◆トコロジストになろう

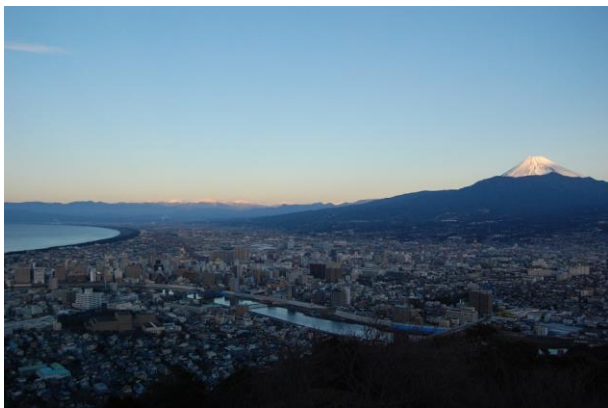
第4回「私のトコロジスト事始め」

昨年秋、沼津支部の幹事会で、財団事務局より「トコロジストになろう」という本が発行されたと紹介され、どんなものか興味があったので早速借りて帰りに読んでみました。体験編と実技編があり、作者の住む町の中での活動が書かれていました。そこでは日頃住んでいる町の中の自然体験を通じて様々な活動があり、発見があり、何と言っても家族や多くの人との関係が書かれていました。

このような活動が何か私が行ってきた活動とすごく近いと思っていましたところ、今年の6月7日、8日に開催した中部ブロック会議の懇親会で、著者の箱田さんと名刺交換をすることができました。それが縁で今回の原稿を執筆することになりました。

■私のフィールド

私は静岡県沼津市で生まれ育ち、学生時代は東京に出ましたが、郷里に戻り34年になります。私の住まいは東海道線沼津駅より1.5km。市役所や裁判所もある市街地。自宅からはいつでも富士山が望め、半径1.5kmには駿河湾、香貫山、狩野川の海、山、川がある環境です。



▲香貫山展望台からの沼津市街地

気候は温暖で冬に雪が積もるのは10年に一回くらい。積もっても1日で溶けてしまいます。食べ物も海の幸（魚のひらきは日本一）山の幸（お茶とみかん）にも恵まれています。この市街地にある標高193mの小高い里山、香貫山が私のフィールドです。

幼いころからこの山に登り、夏はカブトムシやクワガタムシ、セミ取りをして、その後しば

らく間が空きましたが、20年くらい前から健康のため再び山に登るようになりました。10年位前に、山の管理、保全のため山を一周できる幅4mの管理道路ができ、それからは週2回くらい歩いています。麓から登山道を上り、山一周の管理道路を回ると5km、1.5時間です。この管理道路のために、山肌が露出してしまいましたが、最近やっと先駆植物が覆い茂るようになりました。

■樹木、草花、野鳥、地質、歴史

歩いているといつしか樹名板に気が付くようになり、木の名前を記録するようになりました。木の名前を調べるようになると草花が気になり、これも調べるようになりました。

やがて冬のある日、いつものように歩いているとスズメ大ののどが赤く頭が黒い灰色の綺麗な鳥が目の中の小枝に止まりました。早速野鳥の図鑑で調べるとウソという鳥で、桜の木の芽を食べるとありました。この野鳥との出会いが野鳥の会に入会するきっかけでした。



▲ウソ：香貫山中腹の香陵台にて

沼津支部では、探鳥会に積極的に参加し、並行して香貫山での野鳥観察も行っていました。やがてこの山で支部の探鳥会を開けないかと幹事会で提案し、年間計画に入れてもらうことができました。日頃通り慣れた場所での探鳥会が出来るようになったことは、自分の中で大きな出来事でした。

これが励みになって、もっと色々知ろうと自分のフィールドについて調べるようになりました。地質は古い海底火山でなんと数百万年前。

人との関わりは平安時代の経塚、戦国時代の物見台、江戸時代の芝刈り、第二次世界大戦の砲台や燃料の松の植林、昭和50年代の松くい虫による松枯れ、平成の管理道路の開通と環境変化です。

山の頂上より四方に広がる尾根沿いはローム層が積もり食糧難のときに開墾され一時作物を作った場所があります。その後桜が植えられ、やがて老木になり桜の木の間にはタブノキ、クロガネモチ、クスノクの高木、ヒサカキ、ヤブツバキ、アオキの低木の常緑の広葉樹が育つ森になりました。

■伐採事件をきっかけに保護活動

平成23年1月。チェーンソーの甲高いエンジン音とともに、60年は経つタブノキ、クロガネモチ、クスノキなど高木や低木の常緑樹、合わせて500本も切られてしまいました。

「なんで？」管理者の市に問い合わせると、ある奉仕団体の50周年事業で桜の苗木250本を植えるためだという事です。

「市民の大切な森がこんな簡単に伐採されていいのか」と疑問を持ち、各種関係者に問い合わせました。多くの方から意見をいただき行政に問い合わせると今回は行き過ぎたようだと回答がありました。以前より登山道脇にゴミの不法投棄が多く、月に一度のゴミ拾いを行って来た香貫山の自然を守る会（私が作った会）が先頭になり、香貫山保全、利活用検討懇話会を行政に作ってもらい指針を決めました。

今後、山は勝手に伐採や桜の植林は行わないこと、植林した桜は奉仕団体が責任を持って管理することになりました。山の鳥類も最近のデータがないため沼津支部で一年間毎月一回野鳥の観察調査をすることになりました。

■自慢のフィールドに

幼いころ虫取りをした里山は、樹名板を見つけて樹を調べ、草花を調べ、昆虫を調べ、野鳥を調べ、地質を調べ、歴史や文学を勉強しました。

何気なく登っていた山が実は多種多様の生態系（植物640種、野鳥60種、昆虫、動物）があり歴史、文学、文化、人との関わり（毎日多くの方が健康増進のため）があると気づくようになりました。

この経験を生かし、毎月1回、第2土曜日に香貫山の自然を守る会では、野鳥観察会を行っています。秋に紅葉ウオーク、春に桜ウオークがあり、展望台では北から時計まわりに富士山、愛鷹山、箱根山、天城山、達磨山、駿河湾、日本平、南アルプス（聖、赤石、荒川、塩見、北岳）、眼下に狩野川、沼津市街を見ることが出来ます。

今では、自分のフィールドがこんなに素晴らしい場所だと自信を持って多くの人に自慢することが出来るようになりました。ふとした自然の気づきから学んだことは私の宝です。この経験がみなさんの参考になれば幸いです。

（沼津支部／鈴木正之）

◆2013 年度「協働探鳥会」取り組み報告

探鳥会スタッフ通信 9 月号、10 月号で紹介しましたように、東京、神奈川支部、奥多摩支部と財団は協働で、支部型会員を増やすことを目的とした探鳥会を実施してきました。2013 年度は東京、神奈川支部と一緒に開催しましたので、ご報告します。

■2013 年度の実施結果概要

- ・11 月～1 月に、東京、神奈川支部が各 2 回ずつ開催しました。

＜東京＞

11/23 (祝・土)「巣箱の中をのぞいてみよう！代々木公園巣箱かけ教室」(12 月号に掲載)

11/30 (土)「冬の野鳥を楽しもう！日比谷公園と皇居のお濠でバードウォッチング」

＜神奈川支部＞

12/21 (土)「バードウォッチング入門 四季の森公園」(1 月号に掲載)

1/11 (土)「バードウォッチング入門 長浜公園」

- ・合計 222 名が参加し、39 名がお試し入会(※1)しました。

開催場所	全参加者数	非会員参加者数	お試し入会者数 (非会員参加者数に占める割合)
代々木公園(東京)	40 名	32 名	4 名(13%)
日比谷公園(東京)	62 名	51 名	17 名(33%)
四季の森公園(神奈川支部)	65 名	45 名	4 名(9%)
長浜公園(神奈川支部)	55 名	48 名	14 名(29%)

※1 お試し入会とは、各支部が独自に設けている、廉価で短期間会員になれる制度です。

■2013 年度の振り返り

3 月に 2 支部と財団で振り返りを行い、「非会員のバードウォッチング初心者を集客して探鳥会を行い、お試し入会してもらうためには」という視点から、開催場所の選定、広報、参加者への対応、お試し入会制度などについて話し合いました。

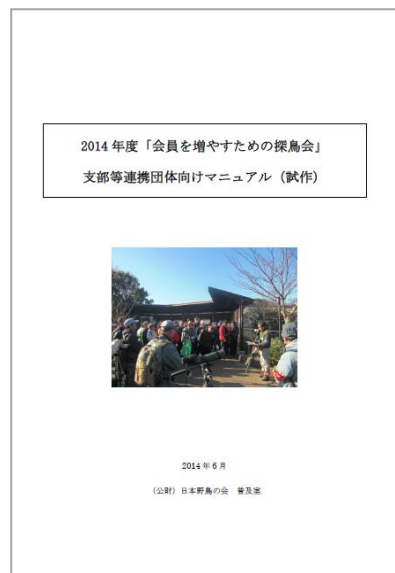
例えば、開催場所の選定では、鳥がいるかという視点ではなく、人が参加しやすいかどうかという視点で行うことが大切だと確認されました。そのため、他の利用者もある都市公園で、認知度が高く、交通アクセスがよい場所などが適しているだろうという意見になりました。

■2014 年度の予定

2014 年度は、名称を「会員を増やすための探鳥会」に改訂し、関東ブロック所属の支部に広げて開催する予定です。関東ブロック所属の支部の皆さんには、この探鳥会の運営ポイントなどをまとめた『2014 年度「会員を増やすた

めの探鳥会」支部等連携団体向けマニュアル(試作)』を添えて、案内を出しております。

来年度以降は関東ブロックを越えて、さらに多くの支部の皆さんと開催出来ればと思っております。関心のある方には今年度のマニュアル



▲マニュアル表紙

(試作)を PDF でお送りしますので、tancho-staff@wbsj.org までお知らせください。

(普及室/堀本理華)

「簡単なホームページ作成サービス『Jimdo』のすすめ」

団体が、その存在や活動内容などを広く一般に伝えていくためには、ホームページ（HP）はたいへん有効なツールです。栃木の場合は、2001年の公開開始から編集ソフトにはホームページビルダーを使ってきており、その操作は特に難しいというものではありませんでしたが、他のスタッフにも気軽に作業を頼める状況にはありませんでした。そこで、2012年から、操作がより簡単なJimdo（ジンドゥー）というサービスに移行したところ、パソコンが得意ではないスタッフでも編集ができるようになり、HPに費やす時間が大きく短縮されることとなりました。かつては便利だなあと思っていたホームページビルダーですが、技術の進化に伴い、Jimdoのような便利なツールが登場したわけで、もはやホームページビルダーに戻ろうという気にはなれません

■ Jimdo とは？

専門的な知識が無くても、簡単・気軽に、また低コストにてホームページを作り、更新していくことが可能なオンラインホームページ作成サービスです (<http://jp.jimdo.com/>)。操作は、ブロックを組み立てるかのよう直感的に作業ができ、驚くほど簡単に洗練されたデザインのホームページを作ることができます。

■ 準備するものは？

パソコン、Webブラウザ（Internet Explorer、Google Chrome、Firefox など）とインターネットに接続できる環境があればよく、新たにソフトを購入する必要はありません。登録は、既にメールアドレスがあれば、5分で作業は完了します。登録が済みますと、一般的なコンテンツが既に配置されている状態からスタートしますので、それをもとに自由に編集することができます。

■ 利用料金は？

無料版と有料版（年 11,340 円または 28,980 円）がありますが、無料版でもほぼ十分な機能が使用可能です。（栃木は無料版です。）ただ、有料版にすることで、Jimdoの広告を消したり、容量を 500MB 以上に増やせた

りできますので、なにが必要かを検討し、どのコースを使うか検討すればいいでしょう。

■ 使える機能（コンテンツ）は？

見出し、文章、写真付き文章、表、フォトギャラリー、ファイルダウンロード、入力フォーム、ブログ、google マップ、twitter、facebook など、通常必要な機能はおおよそ装備されています。よって、会の基本的事項に加え、行事・探鳥地・入会・販売物の案内、入会申込フォームなど一般的なページの作成には十分対応可能です。

また、閲覧をパソコンで出来るのはもちろんですが、スマートフォンで閲覧する場合はレイアウトを自動変換してくれるので、出先での閲覧にもとても便利です。

■ 基本的操作は？

登録が済んだら、まずレイアウトを決めます。初期状態のままでも支障はありませんが、豊富なテンプレートからお好みのものを選ぶのがいいでしょう。次に、掲載したいページ（会の概要、行事案内、問い合わせフォームなど）を用意し、そこに文章や写真を追加していきます。基本的な操作は、まずページ内に追加したいコンテンツ（文章、写真、表など）を一覧から選ぶことから始まり、後はそこに文章や写真を追加していくこととなります。

コンテンツがある程度配置された後での再編集は、編集したい所をマウスでクリックすれば編集可能になります。また、コンテンツをページ内で上下に移動したければ、ドラッグするだけで簡単にできますし、他のページにコンテンツを移動させたり、コピーしたりすることも簡単です。

■ 高度な知識やテクニックは不要！

詳しい操作は、マニュアル本を購入するのもいいでしょうし、使い方を解説している次のようなサイトを見るのもいいでしょう。

- 「Jimdo でつくる簡単ホームページ」

<http://jp-m.jimdo.com/>

- 「Jimdo 図解操作方法」

<http://tocotoco.jimdo.com/>

とにかく、操作には、専門的な知識は要りません。ワードの基本的な使い方ができれば、どなたでも簡単に覚えられると思います。これまでの経験から言いますと、知っている人が1時間もレクチャーすれば概ね理解いただけますし、操作は直感的にできるように工夫されていますので、適当に操作しているうちに徐々に覚えられると思います。

■デメリットは？

Jimdoは、ホームページビルダーと違い、データをバックアップすることができません。ただ、データがすべてなくなって復旧できないという可能性はかなり低いと考えられます。また、この無料版のサービスがいつまであるかの保障もありませんが、そういう場合は、ある程度の期間をもって事前に告知されるでしょうから、今から心配することもないでしょう。

■運用体制

できれば団体内の分野（行事担当、事務局など）の担当者が、各々にHPの編集作業ができるような体制を整えておくと、特定のスタッフに負担が偏らず、速やかに情報をアップできるというメリットがあります。ただ、発行されるパスワードは1つだけなので、編集に携わるメンバーが、それを共有することになります。仮に、パスワードが漏洩し全内容を削除された場合は、復旧の方法はありませんので、その取り扱いにはくれぐれもご注意ください。

日本野鳥の会 栃木

〒320-0027 栃木県宇都宮市
Tel 028-625-4051 Fax 028-625-4052
日本野鳥の会栃木は、野鳥を通して自然に親しみ、野鳥と私たちが安心してすめるよう努めます。

栃木県内の「カッコウ生息アンケート」にご協力ください！

見出し	写真
文章	写真付き文章
カラム	余白
表	フォトギャラリー
ファイルダウンロード	フォーム
水平線	ゲストブック
ブログ表示	YouTube等
Flickr	Google マップ
ウィジェット / HTML	商品
商品カタログ	RSSフィード
Twitter	Facebook
Google+	シェアボタン
その他項目化で頁目に変化が? 開じる	

行っており、皆様にご報告くださっていることが、普通に生活する「無」としてご報告す。「カッコウ」といった鳴き声からこの名が付けられての草原のような開けた場所に生息しますが、住むの鳥の巣にちゃっかり自分の卵を産み、その親に自分をつけています。これを「托卵(たくらん)」といい、オオカササギの親となります。



カッコウ

近年、地球温暖化など地球規模で環境の変化が生じつつあり、鳥類をはじめ野生生物の生息状況の変化が危惧されています。夏鳥のカッコウは長距離の渡りをする野鳥であり、今後、生息状況が変化す

▲操作は、豊富なコンテンツ（赤枠）の中から、必要なものを選んで、順次追加していけばOK！

■作成例

私の携わっているJimdoの作成例としては、「日本野鳥の会 栃木」「星ふる学校」「くまの木」「環境教育関東ミーティング」「栃木両生爬虫類の会」などがありますし、他にも多くのNPOなどがこのサービスを利用していますので、いろいろ見てみて好みのページを作ってみてはいかがでしょうか。

■さあ作ってみよう！

現在、野鳥の会の90の支部で、HPを公開しているのは55支部ですから、35支部がHPを持たないという状況があります。もし、HPを持たない理由が「HPを公開したいけど詳しいスタッフがいないから」とか、「メンテナンスが面倒だから…」ということでしたら、JimdoでHPを立ち上げることをおすすめします。

（栃木副代表／手塚功）

◆探鳥会保険集計結果（2014年5月分）

5月は69支部からご報告をいただき、計343回の探鳥会が開催され、のべ8,197人が参加されました。

表1. 5月の探鳥会保険集計結果（2014年6月15日現在）

支部	開催回数 (回)	参加者数		スタッフ数 (人)	合計人数 (人)
		会員(人)	非会員(人)		
小清水	-	-	-	-	-
オホーツク支部	4	88	45	4	137
根室支部	-	-	-	-	-
釧路支部	3	22	37	11	70
NPO法人日本野鳥の会十勝支部	-	-	-	-	-
旭川支部	5	61	2	5	68
滝川支部	2	23	5	4	32
道北支部	0	0	0	0	0
江別支部	-	-	-	-	-
札幌支部	4	111	58	10	179
小樽支部	3	18	9	4	31
苫小牧支部	-	-	-	-	-
室蘭支部	2	30	15	5	50
函館支部	1	5	0	0	5
道南檜山	3	21	37	9	67
青森県支部	-	-	-	-	-
弘前支部	10	95	29	10	134
秋田県支部	3	41	6	4	51
山形県支部	7	48	22	7	77
宮古支部	-	-	-	-	-
もりおか	3	60	132	17	209
北上支部	3	24	37	9	70
宮城県支部	6	92	28	12	132
ふくしま	2	39	9	5	53
郡山支部	3	39	19	8	66
二本松	1	4	0	2	6
白河支部	1	5	0	1	6
会津支部	-	-	-	-	-
奥会津連合	-	-	-	-	-
いわき支部	2	34	4	2	40
福島県相双支部	-	-	-	-	-
南相馬	-	-	-	-	-
茨城県	13	122	92	20	234
栃木	-	-	-	-	-
群馬	12	167	87	35	289
吾妻	-	-	-	-	-
埼玉	8	186	43	52	281
千葉県	8	98	38	34	170
東京	15	534	17	74	625
奥多摩支部	14	241	30	46	317
神奈川支部	12	215	51	43	309
新潟県	-	-	-	-	-
佐渡支部	-	-	-	-	-

富山	3	55	13	3	71
石川	4	45	7	9	61
福井県	5	27	1	7	35
長野支部	7	78	55	14	147
軽井沢支部	3	36	45	3	84
諏訪	3	13	44	8	65
木曾支部	-	-	-	-	-
伊那谷支部	5	36	58	10	104
甲府支部	2	51	6	4	61
富士山麓支部	2	10	3	5	18
東富士	-	-	-	-	-
沼津支部	2	31	5	3	39
南富士支部	1	43	4	2	49
南伊豆	1	14	0	2	16
静岡支部	5	44	5	9	58
遠江	3	65	18	11	94
愛知県支部	16	166	180	42	388
岐阜	-	-	-	-	-
三重	5	36	46	8	90
奈良支部	3	71	14	6	91
和歌山県支部	1	5	2	3	10
滋賀	5	37	47	10	94
京都支部	10	112	119	21	252
大阪支部	24	431	119	115	665
ひょうご	8	160	180	19	359
NPO法人日本野鳥の会鳥取県支部	4	49	52	4	105
鳥根県支部	1	11	9	1	21
岡山県支部	6	119	45	22	186
広島県支部	3	37	33	3	73
山口県支部	5	20	23	6	49
香川県支部	2	69	21	3	93
徳島県支部	5	64	21	5	90
高知支部	2	14	27	2	43
愛媛	7	66	41	10	117
北九州	4	50	19	6	75
福岡支部	7	162	40	15	217
筑豊	5	63	11	5	79
筑後支部	5	30	23	7	60
佐賀県支部	2	25	9	2	36
長崎県支部	-	-	-	-	-
熊本県支部	4	73	18	5	96
大分県支部	5	31	30	5	66
宮崎県支部	3	35	30	6	71
鹿児島	4	82	48	15	145
やんばる支部	-	-	-	-	-
石垣島支部	-	-	-	-	-
西表支部	1	0	14	2	16
全国	343	4,989	2,337	871	8,197

備考：-は保険の申請がなかったことを示しています。

(普及室)

◆普及室からのお知らせ

■「探鳥会リーダーズフォーラム」を開催します■

全国90か所の日本野鳥の会の支部等連携団体では、年間約3,000回の探鳥会が開催されています。その探鳥会を支えているのが探鳥会リーダーです。

普及室では、全国の探鳥会リーダーを対象にした「探鳥会リーダーズフォーラム」を計画中です。このフォーラムでは、探鳥会運営にまつわる様々なテーマを分科会形式で語り合う場をつくり、支部を超えたリーダー同士のつながりをつくり、探鳥会の質の向上を目指しています。

10月初めには、探鳥会スタッフ通信を通じて皆さまにご案内できると思いますので、予定をあけてもうしばらくお待ちください。

<日 時>2015年2月7日13時
～8日12時
<会 場>八王子セミナーハウス
(東京都八王子市)
<参加費>1万円程度を予定

■「探鳥会リーダーズフォーラム」の分科会を担当してみませんか？■

「探鳥会リーダーズフォーラム」で分科会を企画、実施してくださる方を募集します！探鳥会にまつわることで他のリーダーと情報共有したいこと、話しあってみたいことがある方は立候補してください。

※分科会の開催については、内容や応募数を
勘案し事務局で選定させていただきますので
ご了承ください。

<問合せ先> 役割等不明な点は、事務局にお
問い合わせください。(箱田、堀本)
メールアドレス tancho-staff@wbsj.org
電話 03-5436-2622

□応募方法□

企画する分科会について、以下の項目を記入
していただき、8月31日までにメールで、
tancho-staff@wbsj.org までお送りください。

□応募要領□

<募集期間>2014年7月18日～8月31日
<所要時間>1時間30分～2時間程度でできる
こと
<役 割>分科会の企画運営スタッフ
※写真撮影と記録は事務局で担当します。

<分科会タイトル>(内容がよくわかるもの)
<分科会の内容>(200字程度)
<ご担当者>(支部名、お名前、電話番号、
メールアドレス)

■新たな『フィールドガイド日本の野鳥』に向けて補改訂新版の取り組み■

◇秋までの発行を目指す

日本鳥類目録改定第7版に合わせた新たな『フィールドガイド日本の野鳥』の発行が当初の予定より遅れ、お詫びを兼ねて、この連載で事情や進捗を説明させていただいております。

この度、秋までに新たな『フィールドガイド日本の野鳥』を発行するために「これまで世界の分類などで参考文献としていた出版物の遅れについては、夏までに発行されない場合はそれを諦める」「その場合は、ウェブ上の資料を元にするをやむなしとする」ということに致しました。

なお、新たな分類を簡単にまとめたものとし

ては「新・山野の鳥 改訂版」の分類表、日本鳥類目録改定第7版の変更点については野鳥誌2013年1月号および2・3月号の小特集、分類の基礎および変遷や今後を理解するには、2012年7月号「鳥の分類」特集をお勧めしておきます。

◇エゾライチョウの足指に羽毛はある？

鳥類目録の改定第5版から第6版の変更点にどう対応したかについては前々回に触れましたが、初心者向けの「新・山野の鳥」などでも同様に対応させてきました。1998年の第1刷から、改定版前の14刷まで版を重ねて売れ

続けてきたお陰でもあるのですが、改版の際に微修正を施しています。

実は『フィールドガイド日本の野鳥』増補改定版でも、改版の際の微修正している箇所があるのでここで紹介しておきます。お持ちの方はP192のライチョウ科の解説ですが、どう書かれているのでしょうか。「足指まで羽毛で覆われている点がキジ科と異なる」となっているのは第1刷、第2刷で、2012年発行の第3刷以後は「跗しよが羽毛で覆われている点がキジ科と異なる」に変わっています。これは「エゾライチョウの足の羽毛はライチョウと異なり、足指までではない」などの指摘を藤巻裕蔵氏からいただき、修正させていただいたためです。

ちなみに目録7版ではライチョウ科はキジ科に統合されたので、現在取り組んでいる『フィールドガイド日本の野鳥』増補改定新版ではライチョウ科ではなく、キジ科ライチョウ類として扱う予定です。

また、P62のカムリウミスズメの解説も第2刷までは「日本近海の島で繁殖し、冬も同水域にとどまる」となっていますが、3刷で「冬も同水域にとどまる」を削除しました。当会の調査などで繁殖後に北上するカムリウミスズメがいることが明らかになってきたためです。

◇ウミオウムは高く飛ぶ？

『フィールドガイド日本の野鳥』ではカムリウミスズメの下にウミオウムが登場します。高野著作を尊重し「海上を比較的高く飛ぶといわれる」と書かれたままにしてありますが、この部分は増補改定に取り組んだ時からの課題でした。「・・・といわれる」と記されているのは、高野自身が確認していないためですが、冬の北海道で洋上に出てもそうは見られない種です。世界の文献でもそのような記載は見当たらず、これまで情報を集めてきました。「一度だけ見たことはある」「昔、見たような記憶はある」程度の情報しか得られず、他のウミスズメ類より高く飛ぶ傾向があるのかについては、なんとも言えないものばかりでした。

日本野鳥の会十勝支部の副支部長、千嶋淳さんが、近年、北海道沖の鳥類の調査や著作(*)に取り組まれているので相談させていただきました。千嶋さん自身の見解「これまで観察できた範囲では、飛び立ち距離は他種より大きいようだが、高度はウミスズメやエトロフウミス

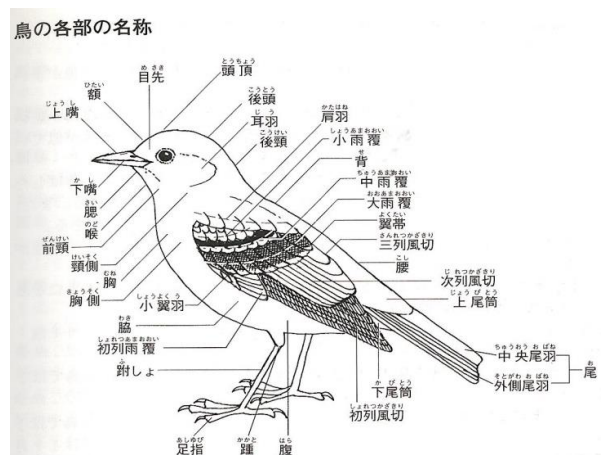
ズメと大差ないと思う」や、千嶋さんが調べた情報なども合わせた結果、「海上を比較的高く飛ぶといわれる」については確認できないので、新版では削除することにしました。

*北海道の海鳥1ウミスズメ類①(発行：NPO法人日本野鳥の会十勝支部)は当会でも扱っています。

◇「かかと」と「漂鳥」

『フィールドガイド日本の野鳥』の修正では基礎を充実させることに努めてきましたので、そのような事例も紹介しておきます。鳥の各部の名称で、増補版まではなかったのですが、増補改訂版にて加えたのが「かかと」です。種の識別ではあまりポイントにされないためか、かかを示していない図鑑が少なくありません。でも、鳥類の体の構造を知る上には重要だし、なにより、かかとをひざと勘違いしている方がたくさんおられます。

また、新版では「漂鳥」の用語解説を書き直す予定で、これまで「日本国内で比較的短い移動をする」と書かれてきた「日本国内で」を削除する案を検討しています。例えばウソヤルリビタキなどが秋冬に低地で見られるようになると、高山から移動してきたように解説されることが多いのではないのでしょうか？でも、分布図を見ればお分かりいただけると思いますが、大陸から南下して来る個体がないほうが不思議です。漂鳥と呼ばれてきた種や個体は、国内移動とは限りません。



▲『フィールドガイド日本の野鳥』増補改訂版 P15から抜粋

(普及室/安西英明)

◆今月の購読者数

探鳥会スタッフ通信7月号の電子メール版の購読者数は、先月から47名増えて742名です。支部ごとの購読者数は以下の通りです。

表2. 探鳥会スタッフ通信7月号電子メール版の購読者数(2014年7月15日現在)

支部	購読者数	支部	購読者数
小清水	1	福井県	10
オホーツク支部	6	長野支部	2
根室支部	0	軽井沢支部	2
釧路支部	2	諏訪	4
NPO法人日本野鳥の会十勝支部	70	木曽支部	1
旭川支部	4	伊那谷支部	1
滝川支部	1	甲府支部	1
道北支部	1	富士山麓支部	0
江別支部	0	東富士	0
札幌支部	1	沼津支部	3
小樽支部	3	南富士支部	2
苫小牧支部	1	南伊豆	2
室蘭支部	4	静岡支部	3
函館支部	0	遠江	5
道南松山	1	愛知県支部	33
青森県支部	1	岐阜	2
弘前支部	4	三重	3
秋田県支部	1	奈良支部	1
山形県支部	3	和歌山県支部	2
宮古支部	1	滋賀	19
もりおか	2	京都支部	131
北上支部	1	大阪支部	5
宮城県支部	38	ひょうご	5
ふくしま	2	NPO法人日本野鳥の会鳥取県支部	11
郡山支部	1	島根県支部	2
二本松	1	岡山県支部	23
白河	1	広島県支部	6
会津支部	2	山口県支部	2
奥会津連合	0	香川県支部	3
いわき支部	1	徳島県支部	4
福島県相双支部	0	高知支部	1
南相馬	0	愛媛	14
茨城県	20	北九州	12
栃木	45	福岡支部	12
群馬	23	筑豊	1
吾妻	1	筑後支部	6
埼玉	24	佐賀県支部	3
千葉県	15	長崎県支部	1
東京	44	熊本県支部	5
奥多摩支部	46	大分県支部	2
神奈川支部	10	宮崎県支部	3
新潟県	1	鹿児島	1
佐渡支部	1	やんばる支部	0
富山	1	石垣島支部	1
石川	5	西表支部	2
		合計	742

お詫びと訂正) 探鳥会スタッフ通信3月号から6月号の「今月の購読者数」において、札幌支部と小樽支部の数字に誤りがありました。ここにお詫びして、今月号より訂正させていただきます。

(普及室)

◆探鳥会スタッフ通信（電子メール版）の購読について

探鳥会スタッフ通信は、支部の探鳥会スタッフならどなたでも購読できます。（無料です）ご希望の方は、「探鳥会スタッフ通信希望」と明記のうえ、①支部名 ②担当している探鳥会名 ③お名前 ④ご住所 ⑤電話番号 ⑥メールアドレス（パソコンやスマートフォンのアド

レス）を記入し、tancho-staff@wbsj.orgへお申し込みください。バックナンバーとともにメール版を送信いたします。

配信を希望されない、メールアドレスの変更などについても、tancho-staff@wbsj.orgまでお知らせください。

★編集後記

連日暑い日が続いておりますが、いかがお過ごしでしょうか。

宮崎県支部から届いた女子会バードウォッチング開催のニュース。探鳥会スタッフ通信が開催のきっかけになったと知り、通信の意義を感じられた瞬間となりました。

栃木からはホームページ作成に役立つサービスの紹介をいただきました。これからホームページを作成しようとしている支部の皆さんはぜひ活用してみてください。

（普及室／堀本理華）

いつもは総務室で経理をしているのですが、職場研修でスタッフ通信の編集に参加しました。慣れない作業に戸惑うばかり…。

さて、記事中でもご紹介させていただきましたが、現在の購読者数は742名。半年前と比べますと、140名ほど増えていて、とても嬉しいことです。これからも皆さまの貴重なご意見、ご感想をお待ちしております。

（総務室／川島麗子）

日本野鳥の会

探鳥会スタッフ通信 第16号

◆発行

(公財)日本野鳥の会 2014年7月18日

◆担当

普及室 普及教育グループ

〒141-0031

東京都品川区西五反田 3-9-23 丸和ビル

TEL : 03-5436-2622

FAX : 03-5436-2635

E-mail : tancho-staff@wbsj.org
